

# 2026年版：リテール&モビリティ 業界における次世代DX推進ガイド ～AIエッジコンピューティングによる「ロス削減」と「収益最大化」 の実現～

SIA Digital Technology 株式会社

# 1. はじめに：日本市場が直面する課題

現在、日本の小売・流通業界は大きな転換期を迎えています。

- **深刻な労働力不足**：適切な人員配置や店舗巡回が困難に。
- **不明ロスの増加**：万引きやレジ不正による収益の圧迫。
- **データの死蔵**：防犯カメラはあっても、それを経営改善に活かせていない。

本資料では、最新のAI技術を活用し、既存の設備を活かしながらこれらの課題を解決する「SIAエッジAIソリューション」の実践方法を解説します。

## 2. SIAのコア・テクノロジー：なぜ「エッジAI」なのか？

当社のソリューションは、高価なハードウェアの買い替えを必要としません。

- **既存カメラの有効活用**： 小型AIエッジサーバーを導入するだけで、既存のカメラが「知能」を持ちます。
- **圧倒的な演算能力**： 60Topsの高性能チップを搭載し、リアルタイムでの高度な行動分析が可能。
- **プライバシーとセキュリティ**： 現場（エッジ）でデータを処理するため、クラウドへの画像アップロードを最小限に抑え、プライバシーを保護します。

### 3. 【ケース1】スマートリテール：万引き防止とオペレーション改革

アリババグループ（銀泰百貨、フーマ、大潤発など）での膨大な導入実績をベースにした、精度の高い分析を提供します。

- **AI万引き対策：** \* 「商品を手にする」「バッグに入れる」といった不審な挙動をリアルタイム検知。
  - POSレジ連動により、スキャン漏れや不正操作を95%以上の精度で特定。
- **業務効率化：**
  - 不審者の追跡ビデオ確認作業を自動化し、従来の**4倍以上の効率化**を実現。
  - 特定エリアの滞在検索や履歴遡及により、現場の負担を大幅に軽減します。

## 4. 【ケース2】 自動車スマートショールーム：データ駆動型マーケティング

展示場をデジタル化し、顧客の「熱量」を可視化します。

- **来店客ファネル分析：** \* 「入店 → 閲覧 → 乗車」のプロセスを数値化し、どの段階で離脱しているかを特定。
- **ヒートマップと属性分析：**
  - 展示車両ごとの注目度を可視化。年齢、性別、同行者情報をAIが自動解析し、ターゲットに合わせた接客をサポート。
- **店舗レイアウトの最適化：**
  - 客流データに基づき、展示車両の配置やスタッフのシフトを最適化し、成約率（クロージング率）を向上させます。

## 5. 導入ステップと期待される効果 (ROI)

SIA Digital Technologyは、診断から導入、アフターフォローまで一気通貫でサポートします。

1. **現状診断**： 既存カメラの画角・ネットワーク環境の確認。
2. **PoC (概念実証)**： 特定店舗での試験導入による効果測定。
3. **全店展開**： クラウド管理による複数店舗の統合データ分析。

### 【期待される成果】

- 不明ロスの20%~30%削減。
- データに基づいたVMD改善による**売上5~10%向上**。

## 6. お問い合わせ

本ソリューションの詳細や、デモンストレーションのご依頼は下記までお気軽にご連絡ください。

**SIA Digital Technology 株式会社** URL: <https://siadt.jp> (日本国内での導入支援・保守サポート体制完備)

